

# 子どもの生活に根ざした小学校音楽科指導の一考察

— 教科等横断的な視点に立つ音楽劇を教材とした実践を通して —

根本 愛子

## A Proposal of Elementary School Music Instruction Rooted in Children's Daily Lives

— Through the Practice of using a Class Performance with Music  
as a Teaching Material from a Cross-curricular Perspective —

NEMOTO Aiko

### 要約

第9次学習指導要領（平成29年告示）では、児童の実態を踏まえて教育の内容や時間を配分し、授業改善や必要な創意工夫を行い、組織的・計画的なカリキュラム・マネジメントの充実を図ることが求められている。本稿は、教科等横断的な視点に立ち、小学校第2学年の音楽科・国語科・特別活動等との合科的・関連的指導を、音楽劇の教材によって実践し、子どもの生活に根ざした教育活動の有用性を検証したものである。折しも、新型コロナウイルス感染症対応により、歌唱表現活動等が制限されていながらも、学年全体の教師や教育実習生との連携、学校行事等の校内配信技術の向上などにより、徐々に発表の場を増やした学校教育活動の創意工夫の実現となり、社会に開かれた教育課程の布石ともなった。

キーワード：カリキュラム・マネジメント、教科等横断的な視点、合科的・関連的指導、音楽劇、社会に開かれた教育課程

### 1. はじめに

子どもの一日の生活には、様々な学習やその他の活動がある。それらの学びのつながりを考えて計画的に教育活動を実践したときには、想像以上の効果が現れる。筆者は、子ども達の学校生活や教師の日々の教育活動に真に還元できることを目的にした教材開発として、音楽劇を教材とした学習活動を実践し、その有用性を検討しながらこれまで研究を重ねてきた。

具体的には、子どもの心に響く物語をテキストにした音楽劇の教材開発や、学校行事や児童会活

動等の発表の場を見据えた教科等横断的な学習計画の立案と実践であり、音楽科と国語科や道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等との合科的・関連的指導という視点で研究を継続し、一定の成果を得てきた。

また、現在、発達に特性をもつ児童が従前よりも増加傾向にあり、合理的配慮や個に応じた指導が求められるとともに、友達と関わり、協働的な学びの中で豊かな心をはぐくむことも喫緊の課題となっている。

令和4年6月、校長として学校内の巡視をしているときに、2年生の教室で「スイミー」（レオ・

レオニ Leo Lionni 作 谷川俊太郎訳) の音読をしている授業にであった。その学年は、1年生のときから、生徒指導や集団としての規範意識など、育てたい課題が山積している実態であった。そして、筆者がかつて「スイミー」のテキストにより、教材開発した音楽劇の実践があることから、この子ども達にぜひ学習してほしいという願いがわいてきて、「歌もあるんだよ」と、声かけをした。それが、本研究のはじまりである。学びがつながら、子ども達の生活に根ざした音楽劇の学習が、この子ども達にもきっと豊かな心をはぐくみ、生活に潤いをもたらし、生活態度も向上するのではないかという期待とともにある教師としての願いだった。

「スイミー」は、「たとえ小さくても、賢さと強い心をもてば困難を乗り越えられる」という主題が、美しい絵とともに明快に伝わる物語である。子ども達にとって、主人公スイミーの気持ちや行動は自分のことのように共感でき、スイミーの知恵と勇気、仲間との協力によっておとずれる痛快な結末にはみんなが笑顔になり、心揺さぶられる優れた作品である。この原作の絵本(好学社1969)をもとに脚色、作曲された音楽物語(川口2001)があり、筆者は小学校低学年用の音楽劇の教材として、その実践や開陳をしてきた(根本2009)。教科書と原作の絵本について補足すると、教科書の文章は絵本と全く同じであり、挿絵の一部が教科書には掲載されていない。また、実際の音楽劇の授業実践では、子ども達が創作した音楽やスピーキングコーラス等を挿入することで、音楽物語の原曲の改編を作曲者の許可を得て行った。

本研究では、2年生の3学級に、音楽科年間計画の時数の中で、同じ音楽科の指導をするとともに学年全体の音楽劇の発表にまとめるビジョンをもち、教科等横断的な視点に立った学習計画表を提示して、児童も教師も見通しをもって学習活動を進めるよう計画立案し、学級担任3名と音楽大学声楽専攻の教育実習生2名と連携した組織的な指導を図った。このことは、現在重要とされているカリキュラム・マネジメントの充実を図るものともいえる。

## 2. 研究の内容

### (1) 研究の目的

- 子どもの生活に根ざした教科等横断的な学習構想による、音楽劇の教材開発。
- 音楽劇を教材とした学習の有用性の考察と、実際の指導方法及び学習活動の開陳。

### (2) 研究の方法

#### ①音楽劇の教材設定

- ・音楽物語「スイミー」—小さな賢い魚のお話—  
川口耕平作曲
- ・お話を読んで紹介しよう  
「スイミー」レオ・レオニ原作 谷川俊太郎訳  
(こくご二上たんぽぽ 光村図書 令和2年度)

#### ②研究の視点

##### 視点1 今日的な課題への対応

- ・教科等横断的な視点に立った学習計画

音楽科、国語科、特別活動等との合科的・関連の指導を明確にし、学習過程を把握し、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

学習過程終末は、音楽、台詞、語りなど、一人一人が役割をもちつつ、一つの音楽劇にまとめる喜びを味わう協働的な学びの実現に向かっていく。

##### 視点2 音楽科としてのアプローチ

- ・歌唱表現活動

日本語の抑揚を生かした魅力的な歌唱教材によって児童の自己表現活動を活性化させる。

- ・音楽づくり

「海の生き物の音楽づくり」の学習を設定し、物語の情景などにふさわしい音楽をつくり、自由に書き込めるワークシートを活用する。

#### ③研究の対象

千葉県立小学校第2学年104名

実施 2023年2月 音楽科7時間計画

「六年生を送る会」で発表

(歌2曲は6月に各学級2時間学習し、7月集会で一部の児童が校内配信で発表している)

### (3) 研究の評価

自己評価スケール(根本2003)と記述を含めた質問紙の児童の回答、ワークシートの結果、担任

3名と教育実習生2名からの記述回答から、本研究の有用性を検証する。

### 3. 研究の授業実践

#### (1) 今日的な課題への対応 (研究の視点1)

音楽科、国語科、特別活動等との合科的・関連的指導を明確にした学習計画表により、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようにする。

学習過程は、「であい・気づき・確認」「自分の思いを表現して」「よさを味わって」の3段階の指導計画を明記し、自然な流れで6月の国語や音楽の授業を思い出すことからスタートする。そして、自分の思いを大切に表現しつつ、友達の表現も尊重し、更に工夫をしていく意欲を育てる。何をどう表現したいのか、一人一人の表現は異なるとよいこと、また、音楽だけでなく、台詞や語りを入れてストーリーを組み立てていくことも示している。そして、最終段階では、よさを味わい、学年で一つの音楽劇にまとめて、「6年生を送る会」で発表するというめあてをもって主体的・協働的な学びとなるように意図して作成した。

学習計画表〔表1〕は、一人一人にプリントし

表1 学習計画表

「ようすや気持ちも思うかべて音楽であらわそう」 ～ スイミー 小さなかしこいさかなのお話 ～	
学習計画表	
(イ)<<	
オリエンテーション：小さなかしこいスイミーのように、すてきな三年生めざして、「スイミー」の音楽をつくりあげよう。 「6年生を送る会」で、6年生に感謝の気持ちをこめて、発表しよう。	
であい・気づき	かきこく
「スイミー」のお話を国語で学習したこと、歌ったことを思い出しましょう。 ○ どの歌を感じましたか？心にひびいたことは？ ○ この音楽とお話を通して、自分で伝えたいことは？	
「スイミー」のテーマソング（マクロのカノン） 歌を歌おう（教科書・絵本・歌詞）	
自分の思いを表現して ～自分の思いを生かして、歌で一番好きなところを工夫して歌おう 自分の思いを表現しよう～	
自分の思いをもつて、「みんなとおくスイミー」の歌を歌おう ♪うれしい気持ちも、「かんせいのばくはつ」で伝えよう ♪自分の思いをもつて、海中探検の好きな生き物の音楽をつくらう ♪せりふやナレーターをいれてみよう	
よさを味わって ～友だちの歌い方のよさをきいて、歌声を合わせて歌い、つくった音楽をきき合うなどして、 2年生の「スイミー」をまとめよう～ 合わせる楽しさ、工夫するおもしろさ、友達表現のよさをきき合い、 自分や友だちのよさをまとめ、音楽を表現しよう！	
自分の思いや意図を生かし、友達と合わせたり発表し合ったりして表現の工夫を感じ取り、 2年生の音楽劇「スイミー」をまとめよう ・音楽をお互いに聴き合おう。 ・せりふを入れたり、楽器で伴奏したりして、音楽パフォーマンスを通して表現しよう。 ・歌やつくった音楽やせりふを発表し合って、表現の工夫を感じ取ろう。	
2月17日(金)「6年生を送る会」で発表 ～これからの学校の生活にいかして楽しもう～ 音楽や表現をもつてきにするポイントを みつけよう みがこう みんなに伝えよう ～これからの学校の生活にいかして楽しもう～	

たものを配付するほか、学年、学級に拡大して掲示し、全員で学びの道筋を確認できるようにする。

#### (2) 音楽科としてのアプローチ (研究の視点2)

##### ①歌唱表現活動

歌唱表現では、主に曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことや、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けることをねらう。〔資料1〕

「思いをもって歌う」ということは、一人一人が自らの感性や創造性を発揮しながら、自分にとって価値のある新しい歌唱表現をつくりだすことにつながる。「スイミー」の物語をもとにし、日本語の抑揚を生かした魅力的な歌唱教材によって、児童は情景や気持ちを想像し、思いをもって自己表現活動を活性化し、自然に自分自身の歌声や発音に気を付けて歌う技能も身に付くと考えられる。

##### ②音楽づくり

国語科で「スイミー」の物語を学習したことを踏まえ、ひとりぼっちになったスイミーが海の中で様々な海の生き物にであい、だんだん元気を取り戻していく場面に、児童は強く心をひかれている。そこで、「海の生き物の音楽づくり」の学習を設定し、各自が好きな場面を選び、物語の情景などにふさわしい音楽をつくる活動を位置付ける。物語文や絵本や教科書の挿絵も参考に、なぜその場面を選んだのか、児童の思いを大切に、生き物の様子や場面の雰囲気を確認して、様々な楽器の音色に親しみ、即興的な音遊びから音楽づくりを進めていく。〔資料1〕また、音楽づくりのワークシートを活用できるようにする。〔資料2・3〕

資料1 学習指導要領との関わり

#### ＜学習指導要領との関わり＞

##### A表現

- (1) 歌唱
- ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。
  - イ 曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くこと。
  - ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ウ)の技能を身に付けること。
  - (ウ) 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能。

- (3)音楽づくり ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)をできるようにすること。
- (ア) 音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ること。
- ウ 発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な、次の(ア)の技能を身に付けること。
- (ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能。
- [共通事項] (1) ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。
- ・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：旋律、リズム、強弱、速度、音色、反復、呼びかけとこたえ。

## 資料2 ワークシート「つくりたい海の生き物」

**スィミーがであった海のいきもののおんがくをつくろう♪**

2年 組 名前 ( )

☆音楽で様子や様子を表現できるように、楽器をえらんで、自分の思いや生き物のようすがつたようにおんがくをつくろう！

つくってみたいいきものの音楽は？下からえらんで、自分の思いを書いてみましょう

♪にじいろのゼリーみたいなの くらげ 例) ベル 鉄琴 金属系 きらきら… (楽器 )

こんなかんじにしたい えらんだ理由

工夫の例) ・お気に入りの音色にする工夫 ・音をなんびょうのばすか ・くりかえすか

♪水中ブルドーザーみたいなの いせえび 例) ギロ マラカス クラベス カスタネット…木のなかま (楽器 )

こんなかんじにしたい えらんだ理由

工夫の例) ・お気に入りの音色にする工夫 ・いさまいかんじにする ・はじめと終わりの楽器を変える

♪みたこともない さかなたち 例) トライアングル 音がのびる感じ 糸 ひばら (楽器 )

こんなかんじにしたい えらんだ理由 ふしぎ 色がカラフル 見えない糸でひばられてる

工夫の例) ・お気に入りの音色にする工夫 ・手づくり楽器 ・音をなんびょうのばすか ・くりかえすか

♪ドロップみたいなの岩からはえている こんぶやわかめのはやし 例) ドロップやはしの感じ (楽器 ) 金属 木 皮…

こんなかんじにしたい えらんだ理由 こんぶやわかめのはやし ドロップみたいなの岩のかんじ

工夫の例) ・お気に入りの音色は？ ・手づくり楽器 ・ふしぎなかんじ ・くりかえし ・音をかせかて

♪うなぎ (かおを見るころにはしっぽをわするほど 長い) 例) ながいかんじ ひっくり (楽器 )

こんなかんじにしたい えらんだ理由

工夫の例) ・お気に入りの音色にする工夫 ・音をなんびょうのばすか ・長くてひっくりなかんじ

♪いそぎんちゃく (かぜにゆれる やしのきみだいな) 例) かぜにゆれるかんじ やしのき (楽器 )

こんなかんじにしたい えらんだ理由

工夫の例) ・お気に入りの音色にする工夫 ・音をなんびょうのばすか ・かぜをあらわす ・ゆれるかんじ

## 資料3 ワークシート「音楽のせつけいず」

**スィミーがであった海のいきもののおんがくをつくろう♪**

2年 組 なまえ ( )

イラスト(絵)や線など、どんなかたちでも、好きなように、自由に書いてみましょう♪

海のいきもの ( )

☆工夫したこと・どんな楽器をつかうか ( ) ・お気に入りの音色にする工夫・音をどのくらいいばすかーなど

<はじめ> <なか> <おわり>

♪すてきな音楽にする

＜音のすてき さがし＞

どんな音？

えんそけいしきた

＜音楽のしくみ さがし＞

友だちといっしょにできるね

ためのヒント♪ 強さ・弱さ はやい・おそい リズム 音色 調法

くりかえす よびかけとこたえ つなぐ かきねる

## (3) 音楽の教材と指導内容等について

### ①教材曲の構成

音楽物語「スィミー」—小さな賢い魚のお話—  
(川口耕平作曲) は、以下〔音楽1〕～〔音楽5〕によって構成されている。

- 〔音楽1〕  
《スィミーのテーマソング》オープニング  
海で平和に暮らしていた小さな魚のスィミーの紹介
- 〔音楽2〕  
《マグロのカノン》輪唱  
マグロの襲来にあい、ひとりぼっちになる
- 〔音楽3〕  
《ひとりぼっちのスィミー》  
ひとりぼっちで海を泳ぐスィミー  
(その後の海中探検は児童の音楽づくり)
- 〔音楽4〕  
《みんなと泳ぐスィミー》  
知恵と勇気により、仲間と大きな魚を追い出す。  
音楽物語全体のクライマックスアクセントである  
「歓声の爆発」を表現する。
- 〔音楽5〕  
《スィミーのテーマソング》エンディング  
仲良く楽しくもとの海で暮らす、(強くなった) スィミー。音楽1の再現。

### ②指導上の留意点等

#### ○低学年における歌唱表現活動について

学習指導要領を踏まえて、本教材を活用して児童に育てたい力は(2)①に示したとおりである。低学年では、心を開放して自分の生まれもった声で表現する歌唱活動によって「音楽を好きになる」ことが大切である。①に示したように、原作のあらすじに沿って五つの歌で構成されている。国語の学習で学んだ物語を、児童が音楽と自分の生活に重ね合わせて、気持ちを共感したり情景を想像したりしながら表現活動を行うことができる。

また、いずれの歌(五つの楽曲)も、日本語の抑揚が言葉の意味と同時に伝わってくる旋律やリズム、新鮮な和声で構成されている。「広い海のどこかに……」と、教師がフレーズごとに歌うと、児童は自然にそのまま歌い返し、「お話がそのまま歌になっているね」と、口々に言いながら、楽しく一曲ずつ歌うことができ、物語と一体化した音楽である。物語の場面の移り変わりを想像しながら自分の思いをもって歌うことができ、



全員で一つの音楽物語を表現した達成感も味わえる。

#### ○〔共通事項〕に示された指導内容について

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を示したものであり、十分な指導が行われるよう工夫することが必要とされている。前述〔資料1〕に示した、〔共通事項〕について、歌唱及び音楽づくりについての指導内容の取り組み方を以下に述べる。

##### ・旋律、リズム、強弱、速度、音色

歌唱について、〔音楽1〕～〔音楽5〕は、すべて、日本語の抑揚が言葉の意味と同時に自然に伝わってくる「旋律」と、語感を生かした「リズム」でつくられ、物語の感動を味わい気持ちよく歌う活動が展開される。場面の様子や気持ちなどから、「どんな歌声で歌ったらいいかな」「気持ちが盛り上がるのはこの『旋律』、『リズム』だったんだね。『強さ』や『速さ』はこれでいいかな？」など、問いかけながら学習を進める。このような思考のよりどころと歌い方の工夫を結び付けて、自分の歌声や発音に気付いて声を合わせて歌ったり、情景や気持ちを想像して、思いをもって歌ったりしながら歌唱の表現力を高めることが期待できる。

〔音楽4〕は、音楽物語全体のクライマックスで、仲間と力を合わせて大きな魚を追出した喜びが盛り上がる。初めの穏やかな美しい旋律から、だんだん気持ちが高まり、歓声が爆発するような曲想を感じ取り、思いをもって最大音量で歌う。

このように、歌唱においては、〔共通事項〕に示される「音楽を形づくっている要素」の働きが表現の面白さや美しさに結び付くことを体感し、それらを思考のよりどころにして自分の表現に生かす力も身に付くようにしていくことをねらう。

音楽づくりにおいては、〔資料3〕「音楽のせっけいず」ワークシート下部に、「すてきな音楽にするためのヒント」の〈音楽のすてきさがし〉（音楽を特徴付ける要素）として、強弱、速度、リズム、奏法等を示して、児童が音楽をつくる時に活用できるようにした。

##### ・反復、呼びかけとこたえ

歌唱について、〔音楽1〕の再現が、〔音楽5〕である。全曲を表現すると同時に、音楽でお話を表現した達成感と、クライマックスの最大音量を表現した「歓声の爆発」後のテーマ再現の喜びを感じ、音楽の構成を自然に感じ取ることができる。大きくとらえて、テーマ再現は「反復」のひとつである。エンディングの歌詞は原作ではなく、音楽物語だからこそテーマに再びあえた喜びを味わうことができ、音楽的な統一感の学びもある。

また、〔音楽1〕〔音楽5〕の《スイミーのテーマソング》は、「まっくろ」「だれよりも」「スイミー」の言葉が繰り返される。特に、「まっくろ」は、促音を含んだ旋律とリズムが印象的で、児童は喜んで何度も歌っている。これらの「反復」される歌詞のフレーズは、楽しんで交互唱で歌い合うことにより、「呼びかけとこたえ」に自然に親しみ、その後に計画されている音楽づくりにも生かすことができる。

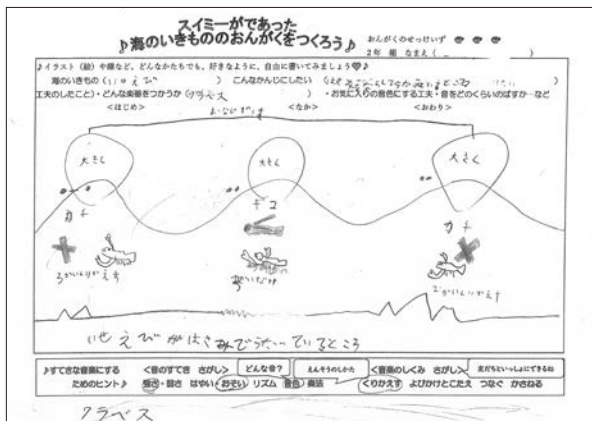
〔音楽2〕の《マグロのカノン》は、輪唱であり、2グループで友達の歌声に「反復」を感じ取って歌い合わせる。カノンを歌うことによって、物語の情景の緊張感や緊迫感をより感じ取る。

音楽づくりにおいては、〔資料3〕「音楽のせっけいず」ワークシート下部に、「すてきな音楽にするためのヒント」の〈音楽のしくみがし〉として、「くりかえす」「よびかけとこたえ」「つなぐ」「かさねる」と示して、児童が音楽をつくる時に活用できるようにした。歌唱の学習後に音楽づくりを設定し、歌唱表現のときに着目した「音楽を形づくっている要素」を、音楽づくりの学習においても思考のよりどころにしていくように指導する。〈音楽のしくみがし〉では、個人の創作活用のほか、個々に音楽を友達とやりとりできる吹き出しも記し、「つなぐ」「かさねる」というヒントも示した。

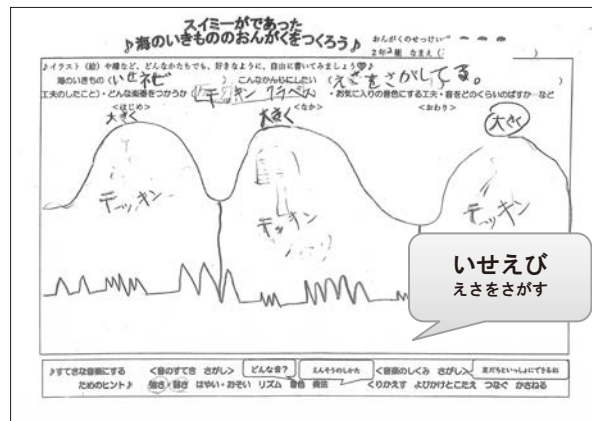
〔共通事項〕に関わるヒントの活用は重要で、児童のワークシートの結果は（4）②に詳細に示す。



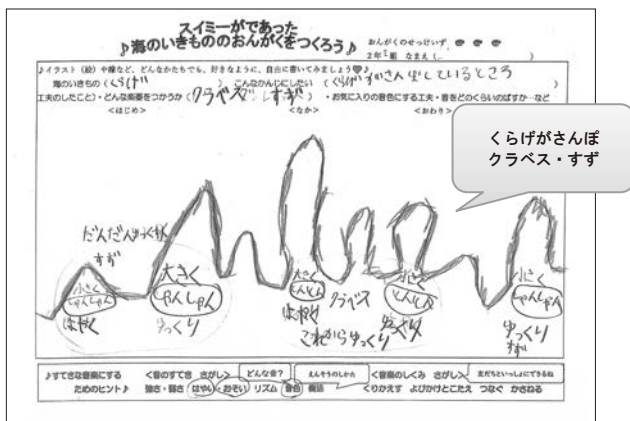
B-2 イラスト 図形楽譜 ☆強弱 音色 反復



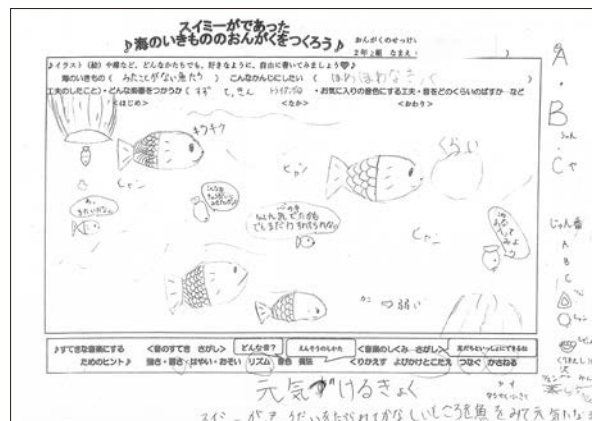
C-2-2 図形楽譜 同一児童が異なる生き物 ☆強弱



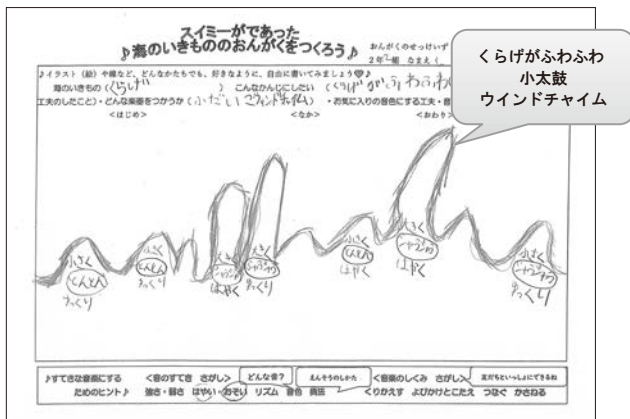
C-1-1 図形楽譜 同一児童が異なる楽器 ☆強弱



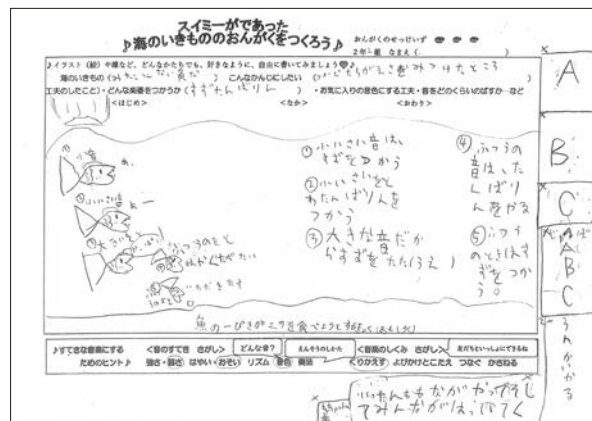
D-1 3人で組み合わせ イラスト 横軸で流れ ABCの分担表 (D-2 D-3同様)



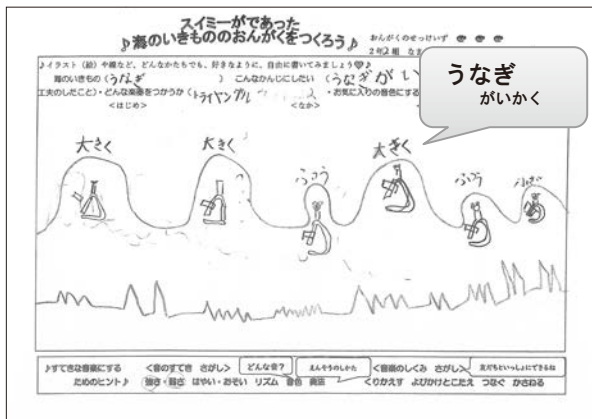
C-1-2 図形楽譜 同一児童が異なる楽器 ☆強弱



D-2 3人で組み合わせ イラスト 横軸で流れ



C-2-1 図形楽譜 同一児童が異なる生き物 ☆強弱



D-3 3人で組み合わせ イラスト 図形楽譜





## 4. 結果と考察

## (1) 事後評価

2 (3) に述べたとおり、「自己評価スケール (根本2003) と記述を含めた質問紙の児童の回答」と、「ワークシートの結果」と、指導にかかわった「担任3名と教育実習生2名の記述回答」から、本研究の有用性を検証する。

2023年8月31日、3年生に進級した3学級（新規学級編成 回答者93名）の児童に、1学級ずつ発表のビデオ鑑賞後、質問紙調査を実施した。担任3名、教育実習生には、同日～9月に質問紙を配付して回答を依頼した。

## ①児童への質問紙調査について

質問紙の自己評価については、「授業・活動への参加状況」「向上・成長の状況」「学習に対する習慣・態度状況」「対人関係のあり方」「自分自身の全体的なあり方」という、5つの主要な評価側面（梶田1994）に基づき、達成感の評価尺度を4段階として作成したものであり（[資料4] [資料5] 参照）、これまで筆者の児童自己評価の分析に用いてきた。本研究では特に、児童の生活にどのように生かされたかという重要な質問項目8については、自由記述欄を設けた。5つの主要な評価側面以外に、教材そのものの評価については、質問項目14に設定した。

また、「学習計画表 [表1]」「ワークシート [資料3]」「その他自由記述」について、時間に余裕のある児童の記述回答を得た。[資料6]

## ②教師への質問紙調査

担任3名と教育実習生2名には、5つの主要な評価側面に対応した記述回答を求めた。[資料7]

「ようすや気持ちを思いうかべて音楽であらわそう」  
～スイミー 小さなかしいさかなのお話～

♪学習をふりかえって♪ <sup>3年 組 名前</sup>

「六年生を送る会」の発表、とてもできてよかったね。今日は、その学習をふりかえって、みましよう。ビデオを見て、がんばったこと、こんなことがすきになった、できるようになった、たのしかった、など、じぶんじんのせいいつしたことをたくさん書いてみてください。ふりかえることは、これから学習にきって役立ちます。みなさんのことをいつもおうえんしています。☆あてはまる数字に○をつけましょう。

1 音楽の学習をすすんでやりました	4.....3.....2.....1
2 工夫して取り組みました (歌・音楽づくり・せりふなど)	4.....3.....2.....1
3 どの楽器をつかうか、どのようにえんそうするかなど、やってみたいことを自分でえらんで決めました。	4.....3.....2.....1
4 歌うことがすきになりました	4.....3.....2.....1
5 音楽をつくるのがすきになりました	4.....3.....2.....1
6 音楽をきくのがすきになりました (いろいろな音楽・友だちの発表なども)	4.....3.....2.....1
7 歌や楽器、音楽づくりなど、もう少しと思うときによく練習をしました。	4.....3.....2.....1
8 音楽の学習をふだんの生活に生かすことができました (休み時間、集会・おうちの生活など) 特にあつたら書いてください!	4.....3.....2.....1
9 音楽の学習は、みんなのきもちをわせたり、心地よさを感じたりすることに役立ちます。	4.....3.....2.....1
10 音楽の学習では、友だちと協力してできました	4.....3.....2.....1
11 音楽の学習で友だちと話し合ったり工夫したりすることがすきです	4.....3.....2.....1
12 音楽の学習で、次もがんばろうというきもちになります	4.....3.....2.....1
13 音楽の学習に自信がもてました	4.....3.....2.....1
14 スイミーのような学習をまたやってみたいです	4.....3.....2.....1

資料5 児童自己評価 5つの主要な評価側面 (教師の質問紙 前段の説明 [資料7] へ続く)

「ようすや気持ちを思いうかべて音楽であらわそう」  
～スイミー 小さなかしいさかなのお話～

♪学習をふりかえって♪

「六年生を送る会」の発表や教育実習生のご指導など、本当にありがとうございました。とてもできてよかったね。今日は、その学習をふりかえって、ビデオを見て、がんばったこと、こんなことがすきになった、できるようになった、たのしかった、など、じぶんじんのせいいつしたことを書いていただきます。先生方も簡単によいので、思い出せるご感想があればお願いしたいと考えます。特にご無理なく記憶にあることをお願いします。参考までに、以下は、自己評価の自作フレームで子どもたちが考えたものです。

1 音楽の学習をすすんでやりました	授業・活動への参加状況	4.....3.....2.....1
2 工夫して取り組みました (歌い方・せりふ・音楽をつくる...など)	授業・活動への参加状況	4.....3.....2.....1
3 どの楽器をつかうか、どのようにえんそうするかなど、やってみたいことを自分でえらんで決めました。	授業・活動への参加状況	4.....3.....2.....1
4 歌うことがすきになりました	向上・成長の状況	4.....3.....2.....1
5 音楽をつくるのがすきになりました	向上・成長の状況	4.....3.....2.....1
6 音楽をきくのがすきになりました (いろいろな音楽・友だちの発表なども)	向上・成長の状況	4.....3.....2.....1
7 歌や楽器、音楽づくりなど、もう少しと思うときによく練習をしました。	学習に対する習慣・態度状況	4.....3.....2.....1
8 音楽の学習をふだんの生活に生かすことができました (休み時間、集会・おうちの生活など) 特にあつたら書いてください!	学習に対する習慣・態度状況	4.....3.....2.....1
9 音楽の学習は、みんなのきもちをわせたり、心地よさを感じたりすることに役立ちます。	学習に対する習慣・態度状況	4.....3.....2.....1
10 音楽の学習では、友だちと協力してできました	対人関係のあり方	4.....3.....2.....1
11 音楽の学習で友だちと話し合ったり工夫したりすることがすきです	対人関係のあり方	4.....3.....2.....1
12 音楽の学習で、次もがんばろうというきもちになります	自分自身の全体的なあり方	4.....3.....2.....1
13 音楽の学習に自信がもてました	自分自身の全体的なあり方	4.....3.....2.....1
14 スイミーのような学習をまたやってみたいです	教材 (題材) そのものの評価	4.....3.....2.....1



資料6 児童の質問紙 自由記述

おまけのしつもんにも答えられる人はお願いします☺

☺「学習計画表」をはっていましたね。  
これをいつも見ていましたね。スイミーの学習について、  
これからやることのおもしろくわくしたきもちをもてましたか。

はい      いいえ      (どちらかに○をしてください)

☺海であった生き物の音楽を楽しくつくりました。  
音楽のせつけいずや、音楽をすてきにするヒントは、役に立ちましたか。

はい      いいえ  
(つくっていない人は、つくりたいかどうかをはい・いいでこたえてください)  
その理由について、○をつけてみてください。(いくつつけてもよいです。自分の意見がある人はその他に書いてください。)

理由(りゆう)

- ・生き物の自分のイメージを 楽音の音をつかって自由に表せるから
- ・音楽の全体のながれ(はじめ なか おわり)をせつけいできるから
- ・＜音楽のすてきさがし＞強弱・はやす・リズム・音色
- ・＜音楽のしくみさがし＞くりかえし・よびかけとこたえ・つなぐ・かきねる
- ・がたのしく、そのヒントでくふうできるから

・友だちと協力することをメモできるから

・その他

☺この学習について、そのほか、楽しかったこと、友だちのよかったところや、  
いろいろな感想があったら何でも自由に書いてください。  
(ビデオを見て、あらためて気づいたことや、今日の感想でもよいです。)

♡思ったことを書くことにまがいは絶対ありません。みんながつくりあげた音楽や  
意見を出し合ったときも、答えは一つではありませんでしたね！

☺ありがとうございました！ これからのみなさんのかつやくをいのこっています！ ☺

資料7 教師の質問紙 自由記述

これらの項目を参考に、以下記述いただけましたらありがとうございます。

1 音楽の授業や学習活動への参加状況の様子や変容について

1～5は5つの評価側面

2 歌唱・音楽づくり・鑑賞など、向上や成長の状況について  
(特に、歌唱表現や、音楽づくりについて、表現の工夫など。送る会の前の学年練習では、  
子どもたちに考えさせて歌唱表現などの「もっとこうしたい」という意見から練習しまし  
た。特に3組の子など積極的に発表していましたが、そのことなどについても何か気付  
きなどありましたらお願いします)

3 学習を生活に生かしていたこと(または、特定のお子さんが生活にこんな変化があったな  
どがありましたらそれでも)などがありましたらお願いします。

4 友だちとの関わりや対人関係などについての変容について(特定のお子さんでも)

5 学習後、自信がついた、次もがんばろうという積極性や主体性が伸びたことがあればお願  
いします。(特定のお子さんでも)

6は学習計画表・ワークシートについて

音楽を形づけている要素＜音楽のすてきさがし＞＜音楽のしくみさがし＞

6 学習計画表の成果、ワークシートの成果などありましたらお願いします。  
国語科や行事等との学びのつながり、「カリキュラム・マネジメント」の視点から

(2) 質問紙調査結果

①児童への質問紙調査〔資料4〕自己評価結果

児童への質問紙調査〔資料4〕は、93名の回答者で、〔表4〕の結果となった。

表4 児童の自己評価結果

番号	主要な側面	質問内容	結果 平均値
1	授業・活動 への参加 状況	音楽の学習をすすんで	3.63
2		工夫して取り組んだ	3.34
3		自分でえらんで決めた	3.30
4	向上・成長 の状況	歌うことが好きになった	3.66
5		音楽づくりが好きになった	3.28
6		音楽を聴くことが好きに	3.78
7	学習に対す る習慣・ 態度	もう少しと思うときに練習	3.56
8		学習を生活に生かす	3.56
9		心地よさを感じる 役立つ	3.60
10	対人関係 —協働—	友だちと協力してできた	3.52
11		友達と工夫することが好き	3.17
12	自分自身 全体	次もがんばろうと思う	3.69
13		音楽の学習に自信をもった	3.54
14	教材	音楽劇をまたやってみたい	3.80

②児童への質問紙調査〔資料4〕8の記述

児童の生活にどのように生かされたかということを知るために、「8 音楽の学習をふだんの生活に生かすことができました」では、数値記入だけでなく、具体的な内容の記述を求めたところ、22名からの回答を得た。その結果を〔表5〕にまとめた。

表5 音楽の学習をふだんの生活にいかす

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今月の歌できれいな声で歌えるようになった。</li> <li>・ 今月の歌が上手になった。</li> </ul>
家庭・家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌を家で歌う時間が増えた。</li> <li>・ おうちで歌うようになった。</li> <li>・ おうちの生活で練習しました。</li> <li>・ 歌をおうちでくせみたいに歌っていた。</li> <li>・ 車などで音楽をきいて歌っている。</li> <li>・ みんな家族で歌を歌うようになった。</li> <li>・ カラオケにいっぱい行くようになった。</li> <li>・ 家や外で活かせた。</li> <li>・ 私が何か歌ったら、弟も一緒に歌い始めました。</li> <li>・ 妹がスイミーを歌いました。</li> <li>・ おうちで妹におしえて、二人で歌った。</li> <li>・ お兄ちゃんに話したりした。</li> </ul>

習いごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習いごとで役に立った。(2)</li> <li>・エレクトーンを習っているけど、いつもより練習することができました。スイミーをひきました。</li> </ul>
自分自身	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌うのが上手になった。(2)</li> <li>・おうちの生活ですごく練習したらすごくいろいろな歌が歌えるようになった。</li> <li>・スイミーのおかげで、いろいろ頑張れるようになった。</li> <li>・音楽に自信がなかったけど、スイミーを歌って自信がついた。おうちで歌っている。</li> </ul>

### ③児童への質問紙調査〔資料6〕自由記述結果①

児童への質問紙調査〔資料6〕について、前半2問の「学習計画表」と「ワークシート」についての質問には、36名の回答者で、〔表6〕の結果となった。

表6 学習計画表とワークシートについて

質問内容	肯定結果 %(児童)
1 「学習計画表」で見通しやわくわくした気持ちをもてました	94%
2 音楽のせっけいずや音楽をすてきにするヒントは役に立ちました	95%
2について、役に立った理由は	
・生き物のイメージを楽器の音を使って自由に表せるから……………21%	
・音楽の流れ（はじめ・中・終わり）をせっけいできるから……………25%	
・〈おんがくのすてきさがし〉や〈おんがくのしくみさがし〉が楽しく、そのヒントで工夫できるから……………34%	
・友達と協力することをメモできるから……………16%	

### ④児童への質問紙調査〔資料6〕自由記述結果②

児童への質問紙調査〔資料6〕「学習の自由記述」は、68名回答で、〔表7〕の結果となった。

表7 学習について 児童の自由記述（数字は人数）

歌声（きれい 大きい）気持ちを合わせる よい音楽になった
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんながしっかりと声を出していてとてもきれいな声だった。14</li> <li>・自分もみんなも声が出ていて気持ちがよかったです。</li> <li>・みんなで気持ちを合わせて（楽しそうに）きれいに歌っていた。4</li> <li>・みんなが声の強弱をつけてすごくいい音楽、すてきな音楽になった。</li> </ul>

#### 感動 なつかしい がんばった これからもがんばる

- ・今見ると（すごく）なつかしいなと思い、もっとがんばりたいです。4
- ・今見たらよくできたなと感動した。
- ・すごくがんばった。
- ・去年の自分は練習をすごくやっってるんだなってわかった。

#### 思ったよりも上手だった びっくり

- ・自分たちはこんなに大きな声で歌えていたのがびっくりした。4
- ・ふりかえってみたらいいと上手だった（からうれしいです）。3
- ・実際にやったとき緊張したけど、ビデオで見たらよくできていた。3
- ・いいと思うまでできていたからもううまくなりたい。

#### ナレーター スイミー役 音楽づくりなど 友達（の工夫）への賞賛

- ・ナレーターや役の人がなりきって工夫していてすごい。6
- ・ナレーターやスイミー役の人が工夫できていてすごいと思った。2
- ・あらためて、海の生き物の音楽がきれいだった。2
- ・強弱があった。

#### 思い出して楽しい 学習が楽しかった 友達と協働した学び

- ・2年の頃をふりかえって楽しかった。4
- ・音楽は楽しいなと思った。3
- ・ビデオを見て楽しくて元気が出た。3
- ・上手に歌えてよかった。
- ・2年生のみんなで歌えて楽しかった。3
- ・6年生が喜んでくれた。
- ・音楽の設計図をかいたり友達とたくさん歌ったりして楽しかった。2
- ・みんなといっぱい話し合ったり練習したりしてとても楽しい学習。2
- ・ちゃんとみんなと連携ができていたなと思いました。

#### 歌などが好きになった もう一度やりたい 自信がついた

- ・スイミーのビデオを見て、もう一度歌ってみたいになりました。4
- ・またスイミーの学習（このような学習）をやりたいです。4
- ・スイミーの歌を歌って、歌が（歌うのが）好きになりました。4
- ・スイミーのおかげで自信をもてたから、またスイミーみたいな音楽をしたり歌ったりしたいです。2

#### 今はもっとできそう 3年生もがんばる

- ・2年生のときは歌いまちがいなどあったけど、今歌ったらどんな感じか、どのように歌えるか確かめてみたいです。
- ・2年生の頃はちょっと恥ずかしかったけど、もう一回スイミーの歌を歌いたい。
- ・もっと上手になっているかもしれない。
- ・2年生のビデオを見て、「今3年生だからもっと元気に大きな声を出せるんじゃないかなあ」と思ったので、3年生で歌うときは、元気に笑顔で歌いたいです。
- ・これからも（3年生の音楽も）がんばります。

#### もっとこうすればよかった もっと～したい

- ・ビデオを見て、もっと大きな声で話せば（ナレーター役）よかった。2
- ・タイミングをもうちょっと上手にしたい。
- ・楽器の音を使っていろいろな曲をやりたい。（音楽づくり）

## ⑤教師への質問紙調査〔資料7〕

教師（担任3名と教育実習生2名）の「5つの主要な評価側面」と「学習計画表とワークシート」に対応した記述回答は、〔表8〕の結果となった。

表8 教師への質問紙調査〔資料7〕の結果

1 音楽の授業や学習活動への参加状況の様子や変容《参加》
<ul style="list-style-type: none"><li>・児童がそれぞれ考え工夫した表現をしようと積極的に取り組んだ。</li><li>・物語からイメージして音や音楽をつくったり歌ったりして、気持ちをこめて表現する力が伸びていった。強弱に着目して自らの力で考えた。</li><li>・学習計画で、見通しと発表の意欲をもち主体的な学習につながった。</li><li>・国語科と関連させることで学習を生かして様々な表現につながった。</li></ul>
2 歌唱・音楽づくり・鑑賞など、向上や成長の状況《向上・成長》
<ul style="list-style-type: none"><li>・学年全体とともに授業する中で向上していった。3</li><li>・もっとこうしたいという意見を伝えて、どんどん表現が高まった。3</li><li>・音楽づくりに関心をもち、真剣に考えて工夫する姿があった。2</li></ul>
3 学習を生活に生かしていたこと《態度・習慣》
<ul style="list-style-type: none"><li>・朝の会や帰りの会の歌声がとてよくなった。4</li><li>・普段あまり元気に歌わない子が楽しそうに口ずさんだり（休み時間も）家でもとても楽しそうに歌ったり（保護者から）していた。4</li><li>・いろいろな楽器に触れたことで楽器に対する親しみが増した。2</li><li>・みんなで歌う楽しさや気持ちよさを感じていた。</li><li>・読み書きが苦手でグループ学習に参加しない子が、音楽の活動は一緒にでき、普段発表しない子が音楽では挙手していた。</li><li>・図書室で「スイミー」やレオ・レオニの本を手取る子が多かった。</li><li>・「音楽が楽しい」という明るい気分が次の授業のよい雰囲気になる。</li></ul>
4 友だちとの関わりなどについての変容《対人関係（協働）》
<ul style="list-style-type: none"><li>・よい表現には素直に感動したり認めたりし、自分の表現を高めた。2</li><li>・一緒に音楽づくりをしたことで、休み時間も仲良くする姿があった。</li><li>・国語や算数で活躍できなかった子が友達に褒められ嬉しそうだった。</li><li>・ADHD傾向の子は、一生懸命歌っていることで周りに認められ、穏やかに過ごせる時間が増えた。その変容に保護者も安心していた。</li><li>・送る会の表現している子を見て、国語の音読を努力する子が増えた。</li></ul>

## 5 自信がつき次も頑張ろうという積極性や主体性《自分自身全体》

- ・友達の豊かな表現の姿を目指してがんばろうとしていた。
- ・その子なりに一生懸命頑張った後は達成感をもっていた。
- ・いろいろな先生や友達に褒められ、声をかけられて自信がついた。
- ・認められて自信がつき、恥ずかしがらず歌うようになった子が増えた。
- ・自信をもって更に主体的に学習に取り組むようになっただけでなく、自分ができるようになったことを周りに伝えるようになった。
- ・音楽づくりの設計図をもう一度かき直したいと言ったり、前回と異なる音楽を加えたりして、よりよいものをつくろうという姿勢を感じた。

## 6-1 「学習計画表」の成果

- ・「学習計画表」を教室に掲示したことで、見通しがもて、めあてが明確になり、とてもよかった。3
- ・国語で学習したことを音楽で歌ったり、音楽づくりをしたりしたので、イメージしやすく、また、6年生を送る会でみんなに鑑賞してもらえると気持ちもあったので、更に頑張れた気がします。

## 6-2 「ワークシート 音楽のせっけいず〔資料3〕」の成果

- ・あんなに自由に子ども達がかかることに驚きました。音を楽しむというのはこういうことなんだなあと思いました。
- ・思いを自由にかくことで、想像を広げ、よい表現につながった。
- ・子どもの頭の中のイメージを見ることができ、面白かった。
- ・どんな音？どんな雰囲気？という言葉で表現しづらいことも、絵や図を見ればアドバイスしやすく、子ども達も自由にかいていくと、どんどん新しいアイデアが出てくるようで、楽しそうだった。

## その他

- ・この学習を通して、私自身大変勉強になりました。よい機会（貴重な経験）を与えてくださり、本当にありがとうございました。2
- ・自分が子どもの頃を思い出しながらとても楽しくできました。子ども達の力はすごいと思いそれを引き出す努力をしなければと感じます。

## （3）結果の考察

### ①児童への質問紙調査結果の考察

#### ○〔表4〕児童の自己評価スケールの結果から

全項目平均値3以上となった。特に、教材そのものの評価である、「14 このような学習をまたやってみたい」については、最高値3.80となっていて93名個々の数値も高く、児童の学習に対する満足度が高かったといえよう。

その他の項目で3.6以上は、「音楽の学習に進んで取り組んだ」「歌うことが好きになった」「音楽



を聴くことが好きになった」「音楽の学習はみんなの気持ちを合わせたり心地よさを感じたりすることに役立つ」「音楽の学習で次も頑張ろうという気持ちになる」であった。多くの児童が、音楽の学習に進んで取り組み、特に歌ったり聴いたりすることが好きになり、学習によって気持ちを合わせて心地よくなることへの気付きがあり、次に向けての意欲が高まったことなどが示された。

反対に、音楽づくりや、友達との協力や工夫については、2年時の学級によって自己評価の高低に差が出ていたため、予想していたよりも平均値は低かった。教育実習生の研究授業について、歌唱と音楽づくりで重点の置き方が学級によって異なっていたことも要因の一つであったと考える。

#### ○[表5] ふだんの生活に生かす具体的記述から

質問項目「8 音楽の学習をふだんの生活に生かすことができました」では、数値記入だけでなく、具体的な記述欄に22名の回答があったが、[表5]に、「学校」「家庭・家族」「習いごと」「自分自身」に分類してまとめた。

今月の歌の向上、歌を歌うことが増えて家でもよく歌い、家族とともに歌っていること、習いごとでも役立つこと、自分自身の向上を実感していることなどが記されていた。児童の生活に根差し、学習したことが生活に生かされることは、どの教科の学習でも望ましいものである。ここでは、学習したことが児童の日常に生かされ、家族にも広まっていること、家族みんなですごうようになったり、きょうだいにおしえて一緒に歌ったりしている記述に、生活を明るく豊かに潤すという、音楽教育の目指すところの実現を見る。

#### ○[表7] 児童の自由記述結果から

学習に対する児童68名の自由記述は、[表7]に分類してまとめた。

まず、歌声がきれいだったことや、音量が思ったよりも大きく、一人一人の一生懸命さや楽しさなどを改めて感じていたことがわかる。「よくできたなと感動した」「あんなに頑張っていたんだ」と感じたことや、「もっと頑張ろう」という気持ちも記されていた。また、音楽表現だけでなく、ナレーターやスイミー役の台詞の表現や音楽づく

りの工夫などを賞賛する記述も多く見られた。友達と一緒に表現した喜びをふりかえって、「楽しかった」「元気が出た」「もう一度やりたい」という記述も多かった。さらに、3年生の自覚をもって、「今はもっとできると思う」「もっとこうすればよかった」など、これから頑張ることにも目を向けていた。発表直後のビデオ鑑賞はこれまで実践してきたが、進級し、数か月後の振り返りは筆者も初めてだったので、これらの記述は新しい発見も含むものだった。

#### ②教師への質問紙調査結果の考察

結果は、[表8]に5つの主要な側面と、教材そのものの評価に整理してまとめた。どの教師も児童の主体性と参加意欲の向上を認め、音楽的な表現力や技能の向上は、協働的な学びの成果とともに良好であることが記述されている。また、音楽を生活に生かしている姿として、児童同様に朝や帰りの会の歌声の向上のほか、普段表現に自信をもてない児童の変容が保護者からのよい情報も添えて記され、図書室で同じ作家の本を手にするなどの姿の記述もあった。各担任は児童の実態を把握しているため、他の学習で活躍できない児童が友達に認められ自信をもって過ごす様子や、特性のある児童の生活の変化と保護者の安心感なども記述されていた。前述した、児童への合理的配慮と個に応じた指導につながるものである。

#### ③「学習計画表」と「ワークシート」の考察

##### ○「学習計画表」について

児童の質問紙調査結果[表6]「学習計画表で見通しやわくわくした気持ちをもてました」の項目肯定は、回答者の94%の結果である。

また、教師の質問紙調査結果[表8]6-1に、「学習計画表を掲示したことで、見通しがもて、めあてが明確になった」と、示されるとともに、1の項目にも「学習計画表から見通しをもてたこと、6年生を送る会で発表したいという意欲が主体的な学習につながった」という記述もあり、学習計画表の成果が現れている。

##### ○「ワークシート」について

児童の質問紙調査結果[表6]「音楽のせっけいずや音楽をすてきにするヒントは役に立ちまし

た」の項目肯定は、回答者の95%の結果である。役に立った理由も、「ヒントの活用」や「音楽の流れをせっけいできる」ことなどを選び、音楽づくりの学習で、教師に説明するときにそのよさを伝える児童も多かった。

また、教師の質問紙調査結果〔表8〕6-2に、「子ども達の思いを自由にかくことで、想像が広がり、よい表現へとつながっていった」「言葉で表現しづらいことについても、絵や図を見ればアドバイスしやすく、子ども達も自由にかいていくとどんどん新しいアイデアが出てくるようで、楽しそうだった」と、記されている。

さらに、「あんなに自由に子ども達がかけることに驚きました」という記述の通り、3(4)②ワークシートの結果に示した児童のワークシートには、個々の音楽づくりの意図が表現されている。どの児童も横軸(時間の流れ)の意識は高く、活用し、児童によって、イラストや図形楽譜に加え、強弱や速さ、重なり等、書き込みがされている。

複数児童の3人組では、一人一人の分担を決め、ABCと記号化して順番のメモなどもしている。そのほか、同じ児童が生き物の様子の違いから、楽器を変更して複数枚かいていたり、同じ児童が異なる生き物の音楽づくりをどんどん進めて複数枚かいていたりしてワークシートを活用している。

これらのことから、ワークシートは音楽づくりに成果があったといえよう。

## 5. おわりに

本稿は、子どもの生活に根ざした教科等横断的な学習構想による音楽劇の教材開発について、公立小学校第2学年における実際の指導方法と学習活動を開陳し、述べてきた。その有用性は、児童・教師の評価や記述回答から検証したが、研究の視点から整理すると以下のように結論づけられる。

### ○本研究の成果

#### 研究の視点1 今日的な課題の対応

- ・教科横断的な視点に立った学習計画の計画立案により、音楽科、国語科、特別活動等との合科的・関連的指導の目指すところや学習過程を明確にし、児童も教師も見通しをもって主体的に

学習が進められ、目標を達成した。

- ・一人一人が役割をもち、一つの音楽劇にまとめる喜びや達成感を味わう協働的な学びが実現した。

#### 研究の視点2 音楽科としてのアプローチ

- ・歌唱表現活動では、日本語の抑揚を生かした魅力的な歌唱教材によって児童の表現力が高まるとともに、音楽を生活に生かし、友達や家族とともに歌うなど、生活を明るく豊かにする姿があった。
- ・国語科の学習と関連した音楽づくりの学習を設定したことによって、児童は情景や気持ちを想像しながらワークシート(「音楽のせっけいず」)を個々の創造性を発揮して活用し、「音楽を形づくっている要素」を思考のよりどころとして音楽をつくり、友達と聴き合い、学びを深めた。

### ○今後の展望

これまで教材開発してきた音楽劇をこのように今日的課題も視野に入れて実践する機会に恵まれたことは、教師としての学びも深く、子ども達の成長の喜びも大きい。今後実践するにあたっては、組織的・計画的なカリキュラム・マネジメントが欠かせない。学校・児童・地域の実態に応じて、必要な条件や手法の検討をしつつ、計画や指導方法、資料などを引き継いでいきたいと考える。

さらに、新しい教材開発に向けて、審美眼を鋭敏にしつつ、様々な芸術作品も含めて取材することも肝要である。

### 参考文献

- レオ・レオニ 谷川俊太郎(1969)『スイミー』好学社  
金本正武 坪能由紀子(2009)『小学校新学習指導要領 ポイントと授業づくり 音楽』  
梶田毅一(1994)『教育における評価の理論』金子書房  
根本愛子(2003)「音楽科における教材開発と評価の在り方—音楽劇を教材とした学習活動を通して—」千葉大学修士論文

### 参考資料

- 文部科学省「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説音楽編」2018年